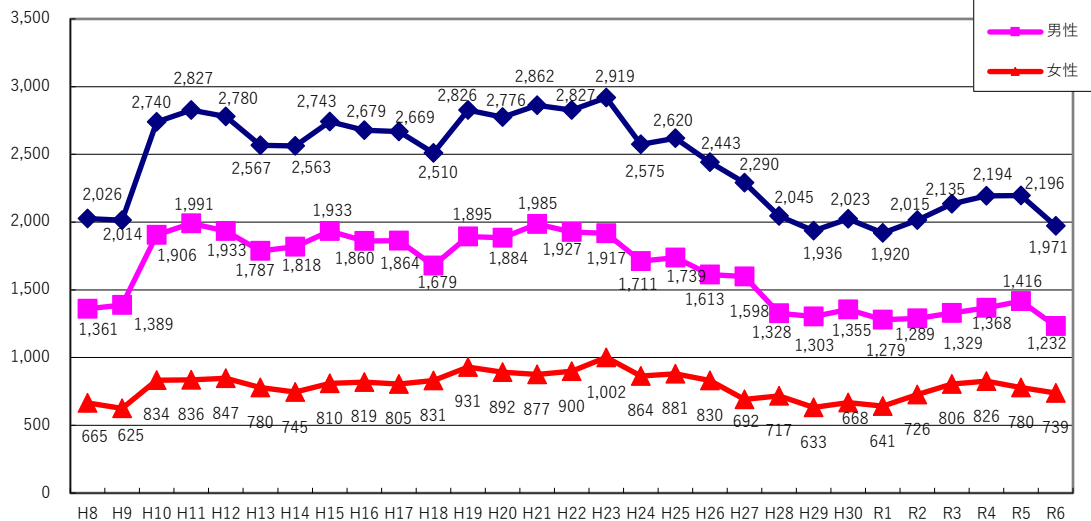


東京都の自殺総合対策について

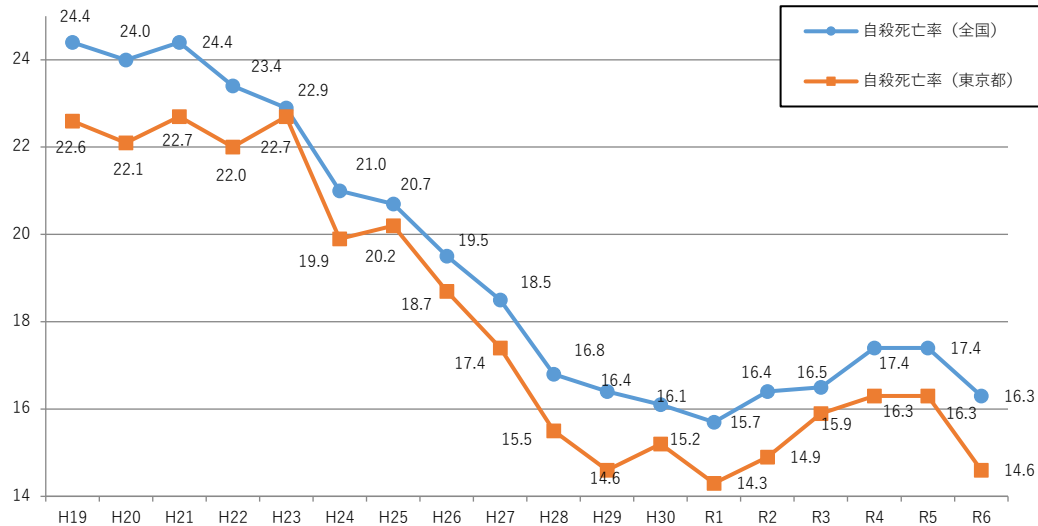
自殺の現状

《自殺死亡者数の年次推移、年齢構成（東京都）》

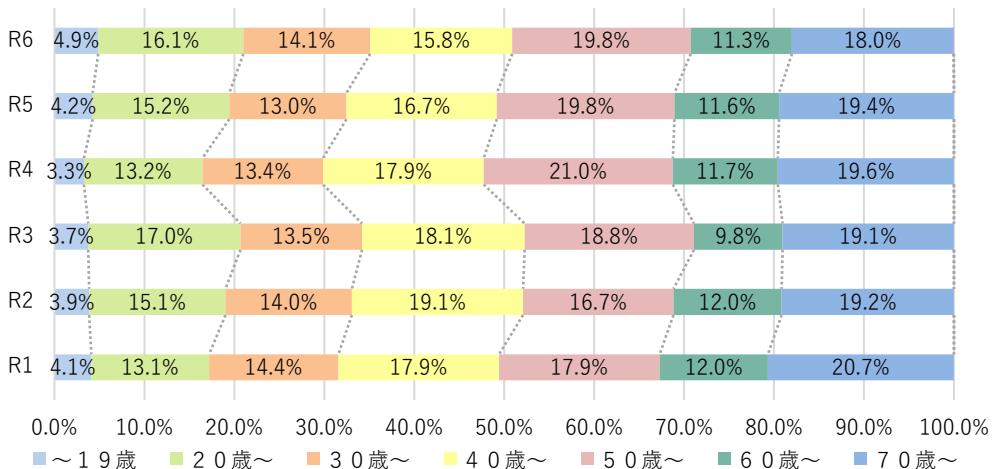
(人) 東京都 自殺者数の推移（平成8～令和6年）



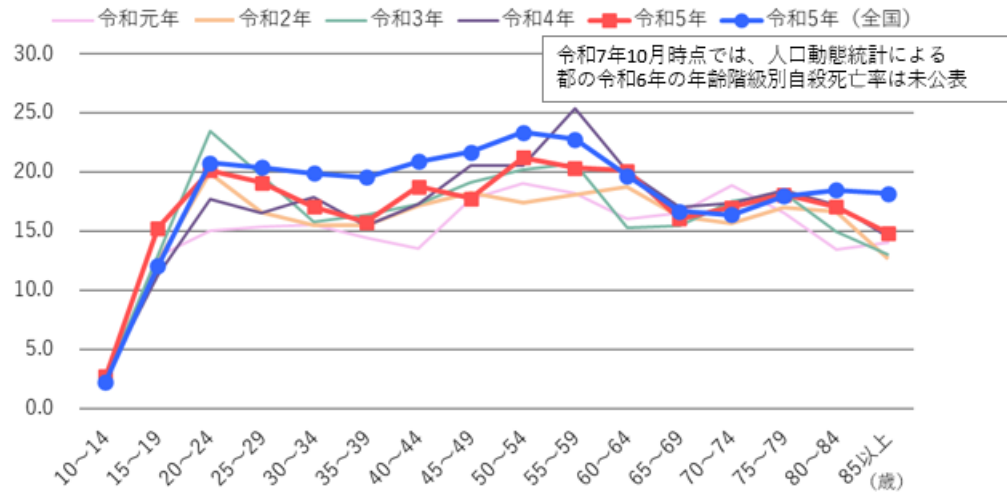
自殺死亡率の推移（平成19年～令和6年、全国・東京都）



自殺者の年齢構成（東京都）



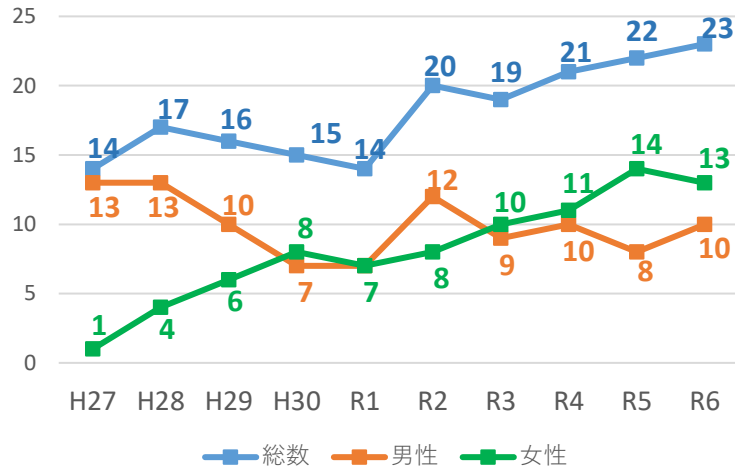
年齢階級別自殺死亡率の推移（東京都・総数）



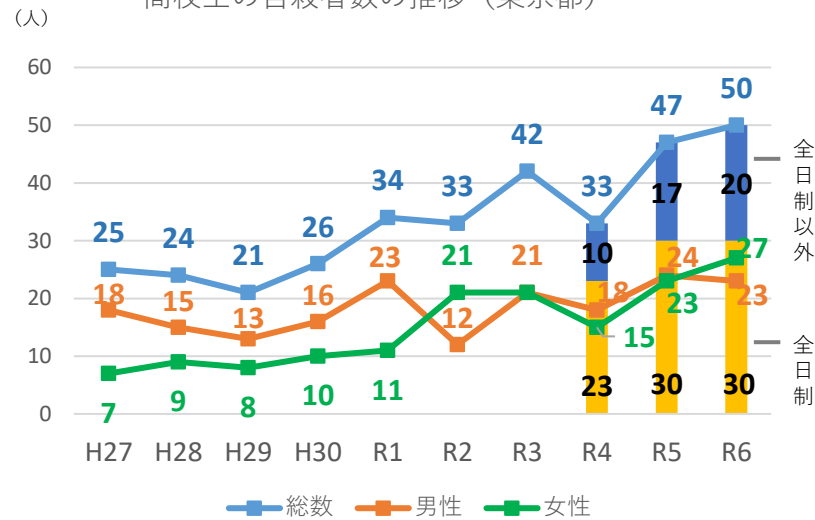
自殺の現状

《児童・生徒・学生の自殺者数の推移（東京都）》

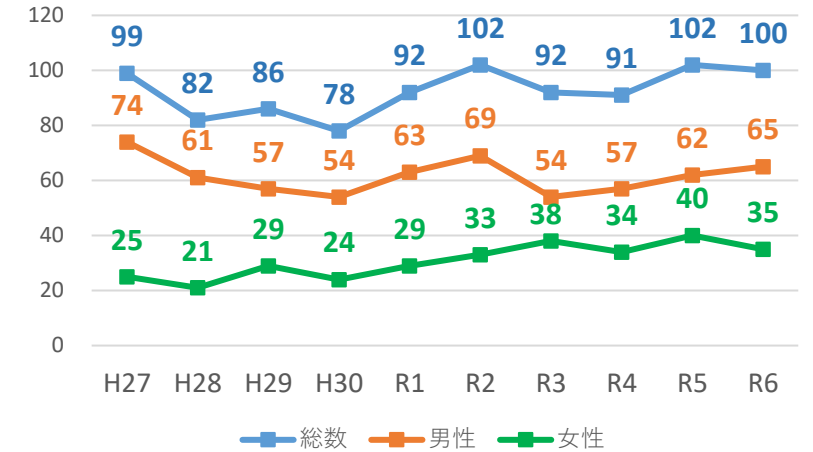
小学生・中学生の自殺者数の推移（東京都）



高校生の自殺者数の推移（東京都）

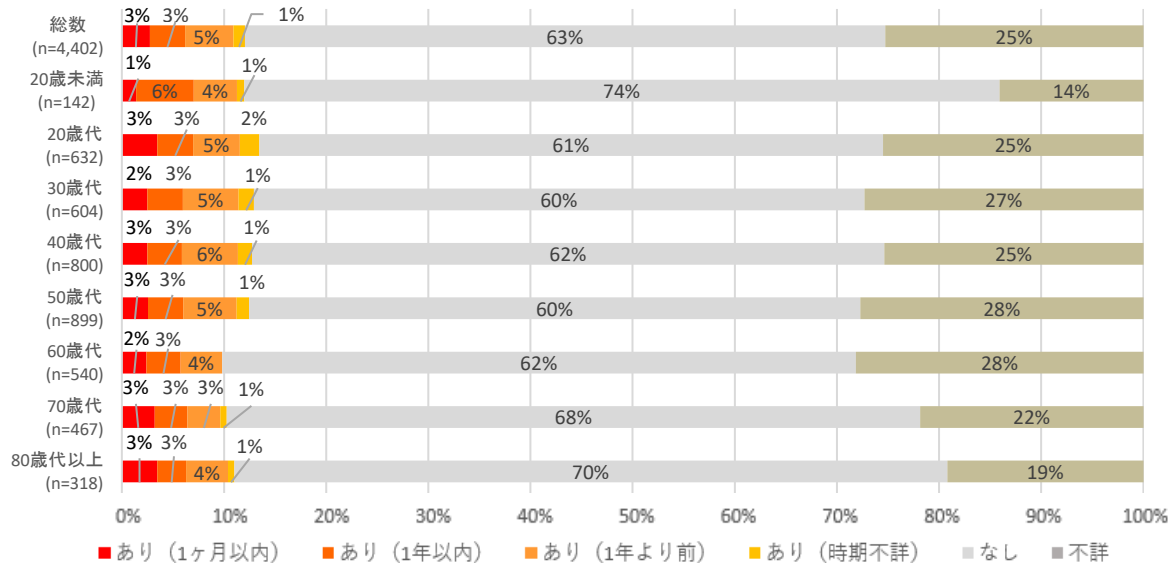


大学生（専修学校生等を含む）自殺者数の推移（東京都）

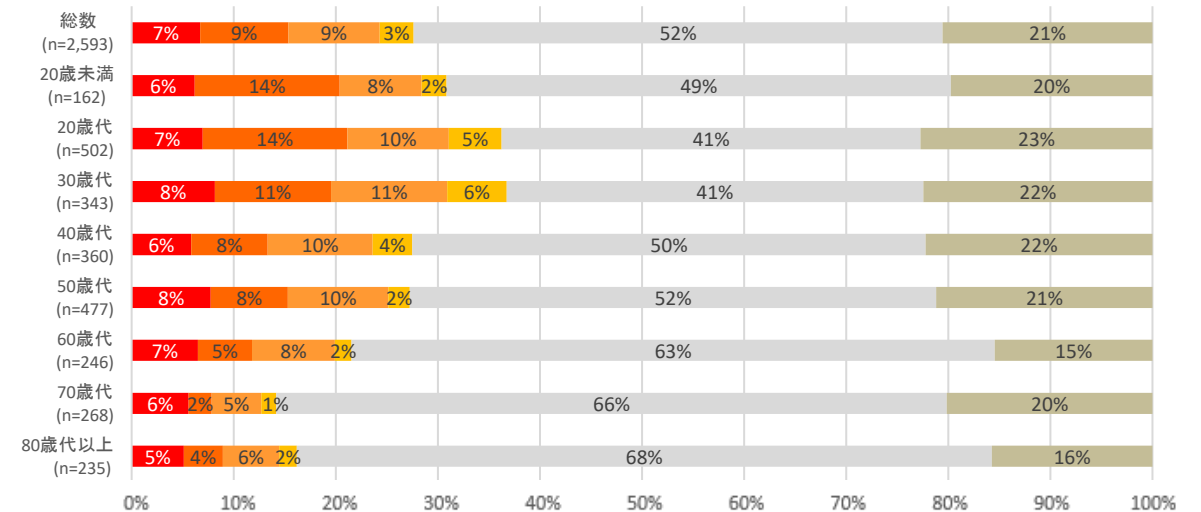


《自殺者の自殺未遂歴の有無（東京都 R4～R6）》

男性



女性



東京都自殺総合対策計画～こころといのちのサポートプラン～（第2次）令和5年3月改定

- 計画の位置付け 自殺対策基本法第13条第1項に基づく都道府県自殺対策計画
- 計画期間 令和5年度から令和9年度までの5年間
- 数値目標 平成27年と比較して30%以上減少 自殺者数 2,290人 →令和8年までに1,600人以下
自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数） 17.4 →令和8年までに12.2以下


○基本的な考え方

幅広い分野で生きることの促進要因を増やし、生きることの阻害要因を減らすことで、生きることの包括的な支援として対策を推進（12の分野で100施策を推進）



自殺総合対策計画に基づく主な取組

〈計画期間中の重点項目と関連施策〉

①早期に適切な支援窓口につなげる

- こころといのちのほっとナビ～ここナビ～
居住地や相談内容等に応じた適切な相談機関を案内するホームページを運営 
- 検索連動型広告
「自殺関連」「うつ」「DV」等に関するキーワードを検索した方に対して、ここナビに誘導する広告文を表示
※「経済・生活問題」分野を追加、分野毎の特設ページ設置

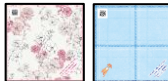
④若年層の自殺防止

- SNS自殺相談
15時～23時（年中無休）
R6年度相談件数 13,612件 
- 小中高校ポケットメモ
小学校5年生以上の全ての児童、生徒に対し、相談窓口情報を掲載したポケットメモを配布
※デジタル版も作成・配布
- 学生向け自殺対策動画
自殺リスクやセルフケア等に関する動画をオンライン配信し、大学等で活用を促進 

②自殺未遂者への継続的な支援

- こころといのちのサポートネット
自殺未遂者等を地域の支援や精神科医療につなぐ相談調整窓口を運営 9時～17時（年中無休）
令和6年度から子供サポートチームの設置等などにより、自殺リスクの高い子供への支援を強化
- 自殺未遂者支援研修
医療機関、警察、消防、区市町村等を対象に、自殺未遂者への基本的な対応について研修を実施

⑤困難を抱える女性への支援

- 女性向けリーフレット
女性向けの相談窓口についてまとめたリーフレットを作成し、区市町村、医療機関、学校等を通じて配布 



〈その他の主な取組〉

○東京都自殺相談ダイヤル

12時～翌朝6時（年中無休）
R6年度相談件数 26,784件
※10月から17～19時の回線数を拡大

青字：令和7年度の新規・拡充の取組

③働き盛りの方々の自殺防止

- 職域向け講演会
企業の経営者、人事労務担当者向けに、職場におけるこころの健康づくり、自殺防止対策等についての講演会を開催
- 検索連動型広告を入口とするメール相談
自殺死亡率が高い一方で、相談の少ない中高年男性を、検索連動型広告により専用のメール相談に誘導し、支援につなげる取組を新たに実施

⑥遺された方への支援

- とうきょう自死遺族総合支援窓口
自死遺族等が直面する様々な問題に対し、自死発生直後から支援するための窓口を運営
月～金曜日 14時～18時
日曜日 13時～17時
メール相談 常時受付



○区市町村・民間団体補助

区市町村や民間団体が取り組む自殺対策について補助事業により支援
民間団体には都独自の上乗せ補助を実施